



Subaru

男声合唱団

ニュース№723

‘20. 2. 4

嶋本晃声楽レッスン(第8回)開講・「見上げてごらん」「UBoj!」を、「大阪のうたごえ祭典 2020」合同レッスンに参加！

1月 31日・2月2日



□ 1月31日(金)18:00～20:30 昂定例レッスン(第5金曜日)・「嶋本晃声楽レッスン(第8回)」が開催されました。佃さんの体操のあと、嶋本先生の入念なヴォイストレーニングが20分ほど行われたあと、伊藤副指揮者の指揮で、「見上げてごらん夜の星を」と「U Boy!」の2曲を合唱練習し、「聴き役」に回った嶋本先生から、前回・前々回のレッスンをふまえた上で、アカペラ曲でのハーモニー・発声に気をつけながら、どのように曲を創り上げていくか、ポイントとなる箇所での大切な指導を受け、歌い手と指揮者と嶋本トレーナーとの真剣なやり取りが続くレッスンとなりました。

特に今回の2曲「見上げてごらん」「U Boy!」は13回コンサートのアカペラ曲として、耳の肥えた聴衆の方々に届ける大切な曲と位置付け、大切なアドバイスを心に刻み、自信をもってしっかりと歌えるように、がんばりましょう！

ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全32名でした。

□ 2月2日(日)9:40より西区民センターで、17:40より浪速区民センターで、「大阪のうたごえ祭典2020」の合同練習が開催されました。

西区民センターでは、うたごえの名曲として作曲され、愛唱されてきた曲のなかから、「ねがい」



「君死にたまふことなかれ」「春のメドレー」「シヤハンバ」「We are the world」「パブリカ」「そだちあういのち」「フィンランディア」「群青」「リメンバー」を、浪速区民センターでは「いのちの海よ！永遠に」「人として」「津軽平野」を、一堂に会して「うたごえ祭典」当日の指揮者のもと、100人規模の合唱団として、各曲約40分をかけてレッスンしました。

昂は「君死にたまふことなかれ」と「シヤハンバ」を、夜からは「人として」と「津軽平野」の曲で参加しました。昼の部で全27名、夜の部で全16名の参加でした。なお、他の合唱団にも所属している昂メンバーは、それぞれの曲目でも参加しています。

(次号以降ニュースにて、「大阪のうたごえ祭典2020 音楽会」前日・当日の日程・要領の諸注意を掲載予定です。既に練習参加者には配布済みです。)



□ 新人大歓迎です！！

春木谷さんの入団に引き続き、1月31日のレッスン時に、これまでレッスン見学で参加しておられた光本章さん、小泉清弘さんが正式に入団されました。

小泉 清弘さん(いずみ きよひろ) (65歳) BR
大阪市中心区在住、趣味：旅行・詩吟 合唱経験 なし

光本 章さん(みつもと あきら) (62歳) BS
高槻市在住 趣味：バイク 合唱経験 7年

春木谷 一さん(はるきたに はじめ) (67歳) BR
大阪市中心区在住 趣味：登山・サイクリング
合唱経験 なし

(投稿) 組織部長・岡邑さん

2020年新年から、毎月第3日曜日のレッスン後に、団員の親睦を目的に、一献かたむけながら「昂誕生会」を行います。誕生月の団員をお祝いして、レッスン後の夕食を兼ねて軽く一杯！乾杯・歓談をしませんか！参加自由です。

「第1回誕生会」

第一回 昂誕生会が1月19日興隆園で行なわれました。誕生会には12名が参加しました。入団したての春木谷さんや見学に来られている光本さんも参加されました。

冒頭 1月の誕生者である私、岡邑から松下電器でのサービス残業の取組みについて話をしました。以下その概要です。

ある時家に電話がありました。「内の主人は帰りが遅いので何をしているのか聞いたところ仕事をしていると言います。しかし給料明細にはほとんど残業手当がついていません。何とかしてください」というものでした。私は早速、組合事務所に行きました。他にもそういう人がいるだろうから調べて善処するように申し入れました。

しかし組合は「それは誰ですか、どこの職場ですか」しか言いません。はたと困りました。私は組合の役員選挙などでいつも会社側候補者と争っていましたが、私と話をしただけで呼び出しを受けるという状況だったからです。

その日から行動しました。夜8時過ぎと10時過ぎ7つある工場の建物の周りを回り、電気の点いている所を表にしました。土、日を含め1か月間データを集め再び組合事務所へ行きました。(8時10時の巡回は結果的に3か月、1日も休まず続けました)

組合は職場の役員を集め支部委員会(20人程度の職場の代表を集めた役員会)を開き、「岡邑がサービス残業を調べているので気を付けるように」といいました。支部委員はさっそく職場に帰り職場の人にその旨報告しました。

その結果800人ほどいた事業所の隅々まで私がサービス残業を調べているということが行き渡りました。その効果は絶大で私が一人の時、例えばトイレにいる時など、そっとそばに来て「どこそこの職場では〇〇さんが遅くまで残っていますよ」と教えに来てくれました。

決定的だったのは私が残業して帰るとき、保安(守衛)の方が「ちょっとこっち来い、これ写して行け」とノートを出してくれました。毎日夜、職場を巡回した時に職場に残っている人を書き留めたものです。

2か月たってから再び組合事務所に行きました。私は「すべての職場で誰が遅くまで残っているか分かりましたよ」専従の書記長は黙りました。1週間して今度は組合が私の職場にやってきました「すみませんでした。確かにサービス残業はありました。会社に申し入れました」

数年後、再びサービス残業が目につくようになり、組合に申し入れました。「サービス残業がやられている、2年間さかのぼって支払うよう、会社に申し入れてください」翌日から各職場では課長が早く出勤し聞き取り調査が始まりました。1週間後、書記長が職場にやってきました。「会社は聞き取り調査をしました。その結果、聞き取りした皆さんは1年位前までは覚えているが2年前は定かでないと言っています。1年分払いますので、それで堪忍してくれませんか」というものでした。

その後1か月に1回行われる全員参加の総合朝会で最高責任者である事業部長は「サービス残業はしないでください、今会の残業手当の支払いは予算に計上されていません。特別決算で支払うことにします」私はこの件を通し知恵を絞れば一人で相当なことができるという自信になりました。それと困ったことが起きたらまず調査、データを集めることの大切さを学びました。

誕生会はその後、春木谷さんや光本さんへの自己紹介が行われ、お二人もいろんなお話をされ、大いに盛り上がるなか、6時15分頃にお開きとなりました。

会計報告 集金(1900円×12人=22,800) 支払い 21,870円 残金 930円は次回へ

□報告事項

団建設委員会の取組みについて 岡邑

高齢化に伴い、病気やケガで休団される方が後を絶ちません。このままでは昇は消滅してしまうと、毎年総会や運営委員会で話し合われてきました。去年は長屋敏郎さんが急死されました。“昇”在籍中で亡くなられた方は今年の長屋正義さんで9人目です。

昨年総会後の運営委員会で、昂の団員を組織的に継続して増やして行くためにどうすれば良いかで話し合い、一つは「友の会」の結成、もう一つは「日曜団員の獲得」を決めました。

それらの運動を進めて行く上で当然団内の意思疎通をはかり団結の絆を強める事も大切ということで「誕生会」も計画し1回目が1月19日（日）に行なわれました。

「友の会について」

詳細は「友の会規約（会則）」で示していますが、要は“昂”を大きくする事を手伝いましょうという方に集まっていただくと言うものです。女性ばかりになるのではないか、という声もありますが「将を射んと欲すればまず馬を射よ」の格言を地で行こうというものです。その代わり希望者には昂のコンサートの時、舞台に立って昂と1～2曲歌ってもらええるようにしようというものです。

「日曜団員について」

毎月の第3日曜日だけ出てきてもらいレッスンを受けてもらおうというものです。コンサートからコンサートの間、同じ曲を数曲練習してもらいコンサートに出てもらおうというものです。曲数、練習時間の長さは今後決めて行きます。できるだけ一般に歌われている歌を選曲することだけ決まっています。

「誕生会」について

現在、昂の団員が集まったの意思疎通の場は総会とその交流会ぐらいしかありません。隣で歌っている人が経歴も含めどんな人かわかりません。そこで月1回集まって、その月の誕生者の方に主人公になってもらい、例えばどんな人生を歩んで来たのか、何が趣味なのか、そんな事を語ってもらい、もちろん歌ってもらっても良いのですが、そことで交流を深め、より高い地点で団結を固めて行こうというものです。

男声合唱団「昂」友の会 入会のお誘い

女性の方大歓迎

男声合唱団「昂」は、毎年、コンサートを計画しています。友の会との合同演奏も計画します。男声合唱団「昂」友の会に入って、共にステージに立ちましょう。女性の方も大歓迎です。

男声合唱団「昂」友の会 会則

男声合唱団「昂」は“うたごえは平和の力”を合言葉に、コンサートや地域での活動を行ない、震災の復興支援や職場で闘う仲間の支援など行ってきました。

男声合唱団「昂」友の会は、この男声合唱団「昂」が更に大きく発展するよう支援して行くことを目的とし、団との交流を図りながら、会員同志の親睦や友情を深める活動を行います。

希望する方は、昂と一緒にコンサートで舞台に立てるようにします。

歌う会は「友の会」の行事として適宜行なっていきます。

第1条 本会の名称を、男声合唱団「昂」友の会とします。

第2条 本会は男声合唱団「昂」のコンサートや行事を積極的に支援して行きます。

第3条 年会費（1月～12月）は1,000円とします。（7月以降の入会は500円とします）

第4条 昂の行うコンサートや「うたう会」の入場料を割引します。

第5条 総会は、会員同士や団との交流を兼ねて、年1回ていど開催し、活動報告・会計報告・役員の選任・会則の変更ほかを行います。（総会は歌う会を兼ねて行ないます）

第6条 事務局は、当面、男声合唱団「昂」の内にあります。

第7条 役員は以下の通りとし、総会で承認を受けるものとします。

会長 副会長 事務局長 事務局員(若干名)

✕

男声合唱団「昂」友の会 入会申込書

年 月 日

フリガナ			
お名前		TEL	
住 所	〒		
Eメール		携帯	

♪ 何か要望がありましたらご記入ください。

（注）昨年の第20回昂総会（8月12日開催）で、組織部のもとに設置された「団・組織建設委員会」（岡邑組織部長・千秋・山本（宏）・川妻委員）が検討を重ねてきた「昂友の会」について、運営委員会にて上記のような提案がなされ、9月15日の運営委員会で、「昂友の会」結成に賛成し、団建設に力を注いでいこうということを決めました。

なお、今後の予定として、「友の会」結成総会を7月初旬ころに開催する予定です。（13回昂コンサートを終え、次回の14回コンサートの企画が検討され曲目が決まる段階）どのような形で結成総会を開催するか（「うたう会・うたごえ喫茶」を兼ねて？）友の会募集のチラシの作成、役員体制の検討等、具体化のための団員のみなさの協力が必要となります。よろしくご理解・ご協力お願いします。（「団組織建設委員会」）